

## 1 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

|                |                      |            |           |
|----------------|----------------------|------------|-----------|
| 【事業所概要(事業所記入)】 |                      |            |           |
| 事業所番号          | 4270202866           |            |           |
| 法人名            | 有限会社 あじさい            |            |           |
| 事業所名           | グループホーム あじさい ユニット1   |            |           |
| 所在地            | 長崎県佐世保市世知原町筥瀬778番地—3 |            |           |
| 自己評価作成日        | 令和3年9月17日            | 評価結果市町村受理日 | 令和3年11月9日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |                                                                             |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaigokensaku.jp/42/">http://www.kaigokensaku.jp/42/</a> |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------|

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                    |
|-------|--------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 福祉総合評価機構 |
| 所在地   | 長崎県長崎市宝町5番5号HACビル内 |
| 訪問調査日 | 令和 3年 10月 13日      |

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

緑豊かな静かな地域の中で、利用者さまが社会の一員として「自由に楽しく笑顔をもって」生活して頂ける様、寄り添いながら、常に利用者様を主体とした支援に取り組んでいます。また、ご家族や地域の方が、いつでも気軽に訪問して頂けるようなグループホームを目指しています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、法人が運営する医療・福祉施設と隣接しており、消防避難訓練を合同で実施する等協力体制が確立している。新型コロナ禍のため運営推進会議を書面会議に変更している中、推進委員から感想や意見を多数得ており、サービス向上に活かしている。今年度は、介護度が軽度である利用者が増加したことにより、レクリエーションでは個々に合ったアクティブな内容を取り入れている他、食後のテーブル拭きなど自宅同様の暮らしぶりも窺える。また、菜園では土づくりから毎日の水やり、収穫を利用者と共に行い、旬の野菜を味わう等、心豊かな生活を支援している。更に看取りの実例も重ねながら、万全な医療体制を構築していることは家族の安心と信頼にも繋がっている。管理者と職員のチームワークは良好で、理念「自由に楽しく笑顔で」をモットーに、家庭的で温かな雰囲気の中で、その人らしく生活が出来るホームである。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項 目 |                                                    | 取 り 組 み の 成 果<br>↓ 該当するものに○印 |                                                                   | 項 目 |                                                                     | 取 り 組 み の 成 果<br>↓ 該当するものに○印 |                                                                   |
|-----|----------------------------------------------------|------------------------------|-------------------------------------------------------------------|-----|---------------------------------------------------------------------|------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 56  | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 63  | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                            | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57  | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○                            | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                            | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58  | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                            | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59  | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66  | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                            | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60  | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61  | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68  | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                            | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62  | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |     |                                                                     |                              |                                                                   |

## 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)＋(Enterキー)です。〕

| 自己         | 外部  | 項 目                                                                                            | 自己評価                                                                               | 外部評価                                                                                                                                    |                                                     |
|------------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
|            |     |                                                                                                | 実践状況                                                                               | 実践状況                                                                                                                                    | 次のステップに向けて期待したい内容                                   |
| Ⅰ.理念に基づく運営 |     |                                                                                                |                                                                                    |                                                                                                                                         |                                                     |
| 1          | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                             | 勤務表に挙げるとともに事業所内にも掲示している。朝の申し送り後に理念を唱和することで共有し、実践につなげている。                           | 毎朝申し送りの際、理念を唱和し理解を深めている。ケア理念にある「自由に楽しく笑顔で」をモットーに家庭的な雰囲気の中で支援に努めている。毎月の会議でも、理念と共に掲示している、「認知症の方への接し方、3ポイント」を引用しながら理念を振り返り、職員の意識の共有を図っている。 |                                                     |
| 2          | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                             | 地域の行事への参加や見学等を行っていたが、コロナ禍により行事は中止となり、交流はなかった。                                      | 新型コロナ禍以前は文化祭への作品出品や、町ぐるみで賑わう“おくんち”見学の他、法人全体の夏祭りの開催や中学生の職場体験による地域交流を図っており、収束後には再開予定である。支所から巡回図書が定期的に訪れ、地域との繋がりを継続している。                   |                                                     |
| 3          |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                           | 運営推進会議は昨年より書面上の会議となったが、書面にて施設での実践の様子を伝え、認知症のある入居者の理解に努めた。                          |                                                                                                                                         |                                                     |
| 4          | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている        | 地域の委員の方に2カ月に一度、活動状況報告書及び報告の説明書、あじさい便り、意見要望書を送った。意見要望書は返送してもらい意見で得たことを支援に活かせるよう努めた。 | 今年度は新型コロナ禍のため書面会議で対応している。運営推進委員へ活動状況報告書と意見書を返信用封筒を添えて送付し、その後議事録を取りまとめ市へ提出している。感想や意見を多数得ており、サービス向上に活かしている。ただし、書面会議の結果内容を家族へ伝えていない。       | 運営推進会議の意義を高めるにあたって、ホームだより等書面の活用を工夫し、状況報告することに期待したい。 |
| 5          | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                  | 生活保護の方が利用されていることもあり、市町村担当者と連絡を取ることが多い。また町内のお知らせが聴きとれるよう無線機の貸し出しをりようしている。           | 運営における手続きや不明な点は、電話や直接窓口に出向き問い合わせしている他、市の担当課職員が定期的に訪問している。今年度は新型コロナ禍により行政からオンライン研修の案内があり参加しており、日頃からサービスの取組みを積極的に伝え、協力関係を築いている。           |                                                     |
| 6          | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 高齢者虐待の禁止、具体的な対応については理解できている。ミーティングや申し送りなどで意見交換し、日頃より虐待や拘束にならないケアに努めている。            | 身体拘束適正化委員会を3ヶ月毎に職員ミーティング時に開いている。また、朝の申し送りでも言葉遣い等、職員間で意見交換を行っている。指針の整備の他、年2回内部研修を設けている。日中の施錠もなく、職員は利用者の行動を見守りながら、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。     |                                                     |
| 7          |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている        | 職員の言動については声を掛け合い、意識しながら対応するようにし、お互いが注意をはらい、防止に努めている。                               |                                                                                                                                         |                                                     |

| 自己 | 外部  | 項目                                                                                             | 自己評価                                                                                  | 外部評価                                                                                                                                                    |                   |
|----|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |     |                                                                                                | 実践状況                                                                                  | 実践状況                                                                                                                                                    | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 研修会に参加し学ぶ機会はなかったが、実際に安心センターや成年後見制度を利用している入居者がいる。                                      |                                                                                                                                                         |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                        | 入居時に必要な物品、退去時に必要な費用などを記載したパンフレットを作成した。十分な説明を行うことを心掛け納得して頂ける様努力した。                     |                                                                                                                                                         |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 玄関には意見箱を設置し、運営方針等も掲示している。また面会時の注意事項をご家族の目に触れやすい場所に掲示し、誤解のないようその都度説明するようにしている。         | 利用開始時に、意見相談窓口や体制について説明している。毎月の便りや請求書の備考欄、電話等活用し、利用者の様子を伝え、家族からの要望を引き出すよう努めている。家族の要望は、外出など新型コロナ禍にあり検討事案もあり、オンライン通話や写真送付など可能な限りサービス向上に繋げている。              |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | ミーティングを毎月行っている。合同ミーティングは2回しか行えなかったが、意見交換や提案を聴く機会を設けている。                               | 毎月各ユニットミーティングで、職員は意見や提案を行っている。管理者は、日頃から職員とのコミュニケーションを図り、意見や現場の情報を聞き取っている。職員の希望を汲みシフトを調整したり、日中の活動内容の見直しを行っている。職員の気づきから、レクリエーション用のホワイトボード購入等、複数の事例が確認できる。 |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 毎月の勤務予定表、実績表により把握してもらっている。実践時の悩みや苦労についての相談にも応じてもらい、職場環境の整備に努めてもらっている。                 |                                                                                                                                                         |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 研修会参加を積極的に勧めてもらっている。オンライン研修を受ける機会が増えたことでパソコンを新規に購入してくれている。                            |                                                                                                                                                         |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム連絡協議会員であることでこれまでは会議や研修会へ参加する機会があったが、FAXでの伝達に留まってしまった。必要な内容は伝達ノートを使用し情報の共有に努めた。 |                                                                                                                                                         |                   |

| 自己                  | 外部  | 項 目                                                                                  | 自己評価                                                                                         | 外部評価                                                                                                                                                     |                   |
|---------------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                     |     |                                                                                      | 実践状況                                                                                         | 実践状況                                                                                                                                                     | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 |     |                                                                                      |                                                                                              |                                                                                                                                                          |                   |
| 15                  |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入所の面接時に本人様の話を傾聴し、思いに寄り添うように努めている。表情や声のトーン、解り易い言葉使いで不安な気持ちに配慮するよう努めている。                       |                                                                                                                                                          |                   |
| 16                  |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | ご家族の思いをまず傾聴することを基本とし、当グループホームについての説明を充分に行うようにしている。気軽に相談して頂ける様、雰囲気作りにも配慮している。                 |                                                                                                                                                          |                   |
| 17                  |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 初期対応で支援内容を見極めるのは困難と考えられるが、さまざまな選択肢があることや柔軟な姿勢で対応できることを理解していただけるように説明している。                    |                                                                                                                                                          |                   |
| 18                  |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 認知症状態にある利用者様の思いや行動を理解しながら、家庭的な雰囲気作りを大事にしている。                                                 |                                                                                                                                                          |                   |
| 19                  |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 家族に安心して頂ける様、定期的にあじさい便りを送付している。面会時にはご本人とご家族との関係調整にも勤めている。                                     |                                                                                                                                                          |                   |
| 20                  | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 面会が感染予防の関係でこれまで通りでできなかったが、可能な限り面会への支援を行った。                                                   | 利用者の馴染みの人や場所、生活歴の情報を収集し、個別の台帳に整理している。家族や知人の訪問、外出は自由であったが、新型コロナ禍のため現在自粛中である。代わりに、玄関ホールでの窓越し面会や電話を活用し、関係が途切れないよう工夫している。隣接するパン屋への買い物など、社会との関わりを絶たないよう努めている。 |                   |
| 21                  |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 利用者同士がトラブルや孤立がないように座席を工夫したり、ご利用者全員が楽しめるようなレクの工夫を行った。レク係を決めホワイトボードを購入し使用したことで関わり合いを増やすことができた。 |                                                                                                                                                          |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項 目                                                                                                    | 自己評価                                                                           | 外部評価                                                                                                                                                        |                   |
|------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                                    |      |                                                                                                        | 実践状況                                                                           | 実践状況                                                                                                                                                        | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 契約が終了しても、いつでも相談や支援ができることを説明している。                                               |                                                                                                                                                             |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |                                                                                                        |                                                                                |                                                                                                                                                             |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                           | どのような暮らしを望まれているのか、等の思いを表出できるような雰囲気作りを行い、安心感や信頼を得られるように努力している。                  | 職員は、利用者に寄り添い会話の中から、本人の思いを引き出している。会話が困難な場合、ホワイトボードを活用しコミュニケーションを図り、本人本位の意向を検討している。各利用者の暮らしぶりから、さまざまな事例が確認できる。職員は知り得た情報を毎日のカンファレンス、個人記録や伝達ノートの記録等で情報共有している。   |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 入所時には可能な限り事前訪問を行うようにしている。ご本人及びご家族からの聞き取りや、文書からの情報を収集し、状況の把握に努めている。             |                                                                                                                                                             |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                                     | 得られた情報を記録に記載し、伝達ノート、申し送り時、ミーティングなどで情報を共有し、現状の把握に努めている。                         |                                                                                                                                                             |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ご本人及びご家族からの希望や意向を聴きとり、担当者会議で公表し意見交換後に計画を作成している。毎月のミーティングでは担当者による実施確認や評価を行っている。 | 短期6ヶ月・長期12ヶ月の介護計画を作成している。月1回のミーティングで担当者が支援状況を報告し、検証を行うと共に「ケアプラン実施表」を活用し、介護計画との運動について理解を深めながら、支援している。本人・家族の要望を毎月利用料を支払いに訪れた際や面会時、電話等で聞き取り計画を見直し、その都度同意を得ている。 |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 介護記録には事実やご利用者が発言した言葉を出来るだけ記録に残し、実践した内容が具体的にわかるようにしている。                         |                                                                                                                                                             |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々にも生じるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる              | 毎日の申し送り後にミニカンファレンスを行い、柔軟な対応ができるようにスタッフからの意見を取り入れ、実践内容を確認している。                  |                                                                                                                                                             |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                                          | 自己評価                                                                                                          | 外部評価                                                                                                                                                    |                                                |
|----|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
|    |      |                                                                                                                             | 実践状況                                                                                                          | 実践状況                                                                                                                                                    | 次のステップに向けて期待したい内容                              |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                              | 地域資源の活用はできなかった。巡回図書の利用も感染状況により延期、中止が相次いだ。可能な限り豊かな暮らしができるようにとの気持ちは常に持っている。                                     |                                                                                                                                                         |                                                |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                          | かかり医への受診の際は日頃の健康状態を正確に伝えることで適切な医療を受けられるようにしている。またご家族への連絡も密に行っている。かかり医、本人、ご家族との関係が良好に築けるようにしている。               | かかりつけ医の継続は、基本的に家族対応の通院としており、現在透析通院を行っている利用者もいる。都合によっては職員が同行し、遠方の病院の場合は、介護タクシーを利用することと定めている。看護師を配置し、介護記録や伝達ノートで情報を共有している。夜間緊急時の対応マニュアルを備え、日頃から周知を図っている。  |                                                |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                                  | 適切な受診や看護が受けられるように、看護職者に対し正確な情報を伝えるようにしている。日頃より健康に関する知識や技術への向上については各自が研鑽するようにしている。                             |                                                                                                                                                         |                                                |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。         | 入院先への情報提供を行い、ご家族も含め定期的に状況を把握するようにしている。                                                                        |                                                                                                                                                         |                                                |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる          | 「終末期のありかた」についてご本人が判断できない場合はご家族に判断して頂いている。ご家族間での十分な話し合い後に同意書に記載をしてもらうようにしている。状態に変化があった際は密に連絡し、方向性を共有するようにしている。 | 今年は複数の看取り支援の事例がある。重度化した場合の指針について、利用開始時に家族から同意を得ている。終末期には細部に亘る最終的な意思確認書にて家族の同意を得て、家族の心の揺れに配慮し、変更可能であることを伝えている。管理者が夜勤職員のフォローに徹し、看取り支援後の振り返りなど積極的に取り組んでいる。 |                                                |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている                                                      | 急変や事故発生時に備え、日頃よりシュミレーションし、話題にしている。最悪の場合に備え実践力が身につくよう努力している。                                                   |                                                                                                                                                         |                                                |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。また、火災等を未然に防ぐための対策をしている。 | 年2回、近隣施設との合同訓練を行っている。緊急時の連絡網は定期的に更新している。地域の方の協力体制は築くことは出来ていない。火災を未然に防ぐための対策としては日中、夜間帯での自主検査チェックを行っている。        | 年2回総合避難訓練を夜間想定で、隣接施設の協力の下、実施している。毎回火元を変更し、2階利用者の避難には、職員を利用者に見立て毛布で覆い、1階に降りる訓練を実施する等徹底している。また、避難先用に利用者の個人情報をもとめた持ち出し備品を整備している。ただし、まだ訓練に参加していない職員がいる。     | 職員全員が訓練に参加し、いざという時に確実に避難誘導ができる体制を整備することを期待したい。 |

| 自己                       | 外部   | 項 目                                                                               | 自己評価                                                                                      | 外部評価                                                                                                                                                     |                   |
|--------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                          |      |                                                                                   | 実践状況                                                                                      | 実践状況                                                                                                                                                     | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |      |                                                                                   |                                                                                           |                                                                                                                                                          |                   |
| 36                       | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                    | 言葉づかいは敬語、丁寧語にて対応し、個別的に支援することを目標にしている。また個室入室時はノック、声かけを行い個人のプライバシーを大切に、との思いで対応している。         | 職員は、利用者の誇りを傷つけないよう、穏やかな言葉遣いで支援に努めている。職員は、ミーティングで利用者のその人らしい姿を共有している。各ユニット事務所にて、利用者の個人情報を保管しており、写真使用の同意書もある。職員は、記録の取り扱いに注意を払い、守秘義務の周知徹底に取り組んでいる。           |                   |
| 37                       |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                      | 利用者自身が判断したり決定できるような言葉かけの工夫を行い、自己決定ができることを大切にしている。                                         |                                                                                                                                                          |                   |
| 38                       |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | その日の天候や体調、気分配慮しながら希望を聴いて対応している。音楽鑑賞、ぬり絵、パズルなどの個人レクも大切にしている。                               |                                                                                                                                                          |                   |
| 39                       |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                   | 外出時や入浴時には季節に応じた服を着用して頂けるように一緒に選んでいる。選ぶ際は組み合わせや色合い、本人の希望を聴くようにしている。                        |                                                                                                                                                          |                   |
| 40                       | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている      | 畑には季節の野菜を種や苗から育てていて、できた野菜の収穫は利用者と一緒に献立に取り入れている。食事の準備は職員が行うが、下膳後のテーブル拭きは利用者によって手伝ってもらっている。 | 調理は外部委託であり、利用者の嗜好を基に、献立をリクエストしている。職員が利用者の咀嚼に合わせて盛付け、利用者は自分のペースで食事を楽しんでいる。ホーム菜園で収穫した野菜を、どう調理するか利用者との話題に活用し、本人の力を引き出している。行事食や誕生会、手作りおやつなど、食事を楽しめるよう工夫している。 |                   |
| 41                       |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている           | 栄養士が献立を作成し、季節の野菜を取り入れた食材で配膳している。食事、水分量は個別に記録している。必要時は捕食、補水を行い健康管理を行っている。                  |                                                                                                                                                          |                   |
| 42                       |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                    | 毎食後は歯磨きをしてもらっている。自分で出来ない利用者に対しては口腔ケアを準備しセッティング、片付けの支援介助を行っている。                            |                                                                                                                                                          |                   |

| 自己 | 外部   | 項 目                                                                                                         | 自己評価                                                                                                                      | 外部評価                                                                                                                                                   |                   |
|----|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                             | 実践状況                                                                                                                      | 実践状況                                                                                                                                                   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 出来る限りトイレでの排泄ができるようにしている。意思表示が困難な利用者に対しては時間誘導を行い失敗の体験を少なくできるようにしている。日中はリハビリパンツを使用してもらい、仮に失敗があっても速やかに処理し自尊心が傷つかないように配慮している。 | 利用者への排泄支援状況は、排泄チェック表に記録している。チェック表を基に時間を見て、声掛けしトイレに誘導している。自己意思を尊重し、できる限りトイレでの座位による排泄支援に取り組んでいる。体調によっては、ポータブルトイレを使用する場合もあり、職員は羞恥心に配慮し、本人の不安を軽減するよう努めている。 |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                                              | 牛乳やヨーグルトの乳製品やココアを取り入れ、水分摂取量をチェックしている。体操や歩行運動にも参加していただいている。                                                                |                                                                                                                                                        |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                             | 全介助または見守りの必要な利用者が殆どで安全を優先するために、入浴日を決め利用者に協力していただいている。入浴時にはできるだけリラックスできるようゆったりとした時間が確保できるようにしている。                          | ホームでは、週3回の入浴日を決めており、職員が入浴介助を行っている。利用者の状況によって、職員が2人で介助し入浴を支援している。利用者が入浴に不安を感じないよう、職員が声を掛け、会話するなどリラックスできるよう、工夫している。                                      |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                                               | 自室ではいつでも自由に休むことができ、リビングではテーブル席、畳、ソファで気分に合わせて休める様にしている。                                                                    |                                                                                                                                                        |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                                          | 薬の内容は個別にファイルし、用法、用量はいつでも目にする事が出来る様にしている。変更があった場合は申し送りや伝達ノートを活用し情報の共有ができるようにしている。薬には名前・日付を記載し、与薬責任(勤務帯)の所在を明確にしている。        |                                                                                                                                                        |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 生活の中での役割や楽しみを実感してもらえるよう、洗濯物たたみやちり紙折り、ゴミ箱作り、モップかけ等を体調や気分に応じ手伝ってもらっている。新聞やテレビは自由に観れるようにしている。                                |                                                                                                                                                        |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | おやつタイム時、天気の良い日は玄関先やベランダに出るようにしている。外気浴や新鮮な空気を吸うことで気分転換が図れるよう配慮している。                                                        | 従来、ドライブや散歩、季節の外出等の外出支援を行っている。新型コロナ禍にて、現在は市内の感染状況と法人の管理の下、家族との外出も自粛している。その中でも、通院時の車でのドライブや隣接する小売店での買い物他、敷地内の畑に出たり、ベランダを活用した外気浴など、日常的にストレス発散の工夫が見られる。    |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                                               | 自己評価                                                                                          | 外部評価                                                                                                                                                        |                   |
|----|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                                  | 実践状況                                                                                          | 実践状況                                                                                                                                                        | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                                                  | 基本現金の所持はトラブルの原因となる可能性があるため管理者が管理をさせてもらっている。近隣のパン工房での買い物も機会が得られずやりとりはできなかった。                   |                                                                                                                                                             |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                                                           | 希望があればいつでも対応が出来る様にしている。必要時、ご家族の協力で電話を入れてもらい安心につなげる機会とする場合もある。                                 |                                                                                                                                                             |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節の花を飾ったり、壁やホワイトボードに貼り絵やぬり絵などの作品を掲示している。温湿度計をもとに室温調整に配慮している。日2回の換気を実施し臭いについては適宜アロマ水の散布を行っている。 | リビングでは利用者がソファやテーブル、小上がりの畳の間に集い、職員とのレクリエーションやタオルたたみ等、楽しみと役割を持って過ごしている様子が窺える。利用者が作成した貼り絵等季節の作品を飾っている他、ベランダのプランターや菜園で野菜を収穫している。掃除は職員と共に、利用者もできる範囲で手伝い清潔を保っている。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者と士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                                      | 共用スペースのリビングには畳、ソファがあり自由に使える様にしている。テーブルは感染予防のため配置の工夫を行っている。                                    |                                                                                                                                                             |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                                          | 使い慣れた物は継続して使用してもらい、写真、誕生会での色紙、各自の作品は目に触れやすい位置に置くようにしている。話題にすると喜ばれている。                         | ベッドは利用者の状況に応じて、畳式、リクライニング式の他、電動ベッドも2台導入し使用している。衣類やパッド類を収納できるスペースを設けている他、愛用の家具やテレビなども持ち込み可能である。職員による誕生会の色紙は本人に向けた温かみを感じられる。職員は清掃や換気、週1回の寝具交換等、清潔保持に努めている。    |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                                             | 常に整理整頓を心がけ、動線には障害となる物の排除を心がけている。手すりを設置することで安全に移動できている。必要な方のために居室・トイレ・浴室がわかるように絵や文字の工夫をしている。   |                                                                                                                                                             |                   |

## 1 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                      |            |  |
|---------|----------------------|------------|--|
| 事業所番号   | 4270202866           |            |  |
| 法人名     | 有限会社 あじさい            |            |  |
| 事業所名    | グループホーム あじさい ユニット2   |            |  |
| 所在地     | 長崎県佐世保市世知原町筥瀬778番地一3 |            |  |
| 自己評価作成日 | 令和3年9月17日            | 評価結果市町村受理日 |  |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |                                                                             |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaigokensaku.jp/42/">http://www.kaigokensaku.jp/42/</a> |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------|

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                    |
|-------|--------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 福祉総合評価機構 |
| 所在地   | 長崎県長崎市宝町5番5号HACビル内 |
| 訪問調査日 | 令和 3年 10月 13日      |

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

緑豊かな静かな地域の中で、利用者さまが社会の一員として「自由に楽しく笑顔をもって」生活して頂ける様、寄り添いながら、常に利用者様を主体とした支援に取り組んでいます。また、ご家族や地域の方が、いつでも気軽に訪問して頂けるようなグループホームを目指しています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

|  |
|--|
|  |
|--|

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項 目 |                                                    | 取 り 組 み の 成 果<br>↓ 該当するものに○印 |                                                                   | 項 目 |                                                                     | 取 り 組 み の 成 果<br>↓ 該当するものに○印 |                                                                   |
|-----|----------------------------------------------------|------------------------------|-------------------------------------------------------------------|-----|---------------------------------------------------------------------|------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 56  | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 63  | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                            | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57  | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○                            | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                            | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58  | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                            | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59  | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66  | 職員は、生き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                            | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60  | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61  | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68  | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                            | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62  | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |     |                                                                     |                              |                                                                   |

## 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

| 自己         | 外部  | 項 目                                                                                           | 自己評価                                                                               | 外部評価 |                   |
|------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------|
|            |     |                                                                                               | 実践状況                                                                               | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅰ.理念に基づく運営 |     |                                                                                               |                                                                                    |      |                   |
| 1          | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                            | 勤務表に挙げるとともに事業所内にも掲示している。朝の申し送り後に理念を唱和することで共有し、実践につなげている。                           |      |                   |
| 2          | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                            | 地域の行事への参加や見学等を行っていたが、コロナ禍により行事は中止となり、交流はなかった。                                      |      |                   |
| 3          |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                          | 運営推進会議は昨年より書面上の会議となったが、書面にて施設での実践の様子を伝え、認知症のある入居者の理解に努めた。                          |      |                   |
| 4          | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている       | 地域の委員の方に2カ月に一度、活動状況報告書及び報告の説明書、あじさい便り、意見要望書を送った。意見要望書は返送してもらい意見で得たことを支援に活かせるよう努めた。 |      |                   |
| 5          | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                 | 生活保護の方が利用されていることもあり、市町村担当者と連絡を取ることが多い。また町内のお知らせが聴きとれるよう無線機の貸し出しをりようしている。           |      |                   |
| 6          | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 高齢者虐待の禁止、具体的な対応については理解できている。ミーティングや申し送りなどで意見交換し、日頃より虐待や拘束にならないケアに努めている。            |      |                   |
| 7          |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている       | 職員の言動については声を掛け合い、意識しながら対応するようにし、お互いが注意をはらい、防止に努めている。                               |      |                   |

| 自己 | 外部  | 項 目                                                                                            | 自己評価                                                                                  | 外部評価 |                   |
|----|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------|
|    |     |                                                                                                | 実践状況                                                                                  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 研修会に参加し学ぶ機会はなかったが、実際に安心センターや成年後見制度を利用している入居者がいる。                                      |      |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 入居時に必要な物品、退去時に必要な費用などを記載したパンフレットを作成した。十分な説明を行うことを心掛け納得して頂ける様努力した。                     |      |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 玄関には意見箱を設置し、運営方針等も掲示している。また面会時の注意事項をご家族の目に触れやすい場所に掲示し、誤解のないようその都度説明するようにしている。         |      |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | ミーティングを毎月行っている。合同ミーティングは2回しか行えなかったが、意見交換や提案を聴く機会を設けている。                               |      |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 毎月の勤務予定表、実績表により把握してもらっている。実践時の悩みや苦労についての相談にも応じてもらい、職場環境の整備に努めてもらっている。                 |      |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 研修会参加を積極的に勧めてもらっている。オンライン研修を受ける機会が増えたことでパソコンを新規に購入してくれている。                            |      |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム連絡協議会員であることでこれまでは会議や研修会へ参加する機会があったが、FAXでの伝達に留まってしまった。必要な内容は伝達ノートを使用し情報の共有に努めた。 |      |                   |

| 自己<br>外部            | 項目  | 自己評価                                                                                 | 外部評価                                                                                         |                   |  |
|---------------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|--|
|                     |     | 実践状況                                                                                 | 実践状況                                                                                         | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 |     |                                                                                      |                                                                                              |                   |  |
| 15                  |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入所の面接時に本人様の話を傾聴し、思いに寄り添うように努めている。表情や声のトーン、解り易い言葉使いで不安な気持ちに配慮するよう努めている。                       |                   |  |
| 16                  |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | ご家族の思いをまず傾聴することを基本とし、当グループホームについての説明を充分に行うようにしている。気軽に相談して頂ける様、雰囲気作りにも配慮している。                 |                   |  |
| 17                  |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 初期対応で支援内容を見極めるのは困難と考えられるが、さまざまな選択肢があることや柔軟な姿勢で対応できることを理解していただけるように説明している。                    |                   |  |
| 18                  |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 認知症状態にある利用者様の思いや行動を理解しながら、家庭的な雰囲気作りを大事にしている。                                                 |                   |  |
| 19                  |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 家族に安心して頂ける様、定期的にあじさい便りを送付している。面会時にはご本人とご家族との関係調整にも勤めている。                                     |                   |  |
| 20                  | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 面会が感染予防の関係でこれまで通りでできなかったが、可能な限り面会への支援を行った。                                                   |                   |  |
| 21                  |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 利用者同士がトラブルや孤立がないように座席を工夫したり、ご利用者全員が楽しめるようなレクの工夫を行った。レク係を決めホワイトボードを購入し使用したことで関わり合いを増やすことができた。 |                   |  |

| 自己                                 | 外部   | 項 目                                                                                                    | 自己評価                                                                           | 外部評価 |                   |
|------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------|
|                                    |      |                                                                                                        | 実践状況                                                                           | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 契約が終了しても、いつでも相談や支援ができることを説明している。                                               |      |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |                                                                                                        |                                                                                |      |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                           | どのような暮らしを望まれているのか、等の思いを表出できるような雰囲気作りを行い、安心感や信頼を得られるように努力している。                  |      |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 入所時には可能な限り事前訪問を行うようにしている。ご本人及びご家族からの聞き取りや、文書からの情報を収集し、状況の把握に努めている。             |      |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                                     | 得られた情報を記録に記載し、伝達ノート、申し送り時、ミーティングなどで情報を共有し、現状の把握に努めている。                         |      |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ご本人及びご家族からの希望や意向を聴きとり、担当者会議で公表し意見交換後に計画を作成している。毎月のミーティングでは担当者による実施確認や評価を行っている。 |      |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 介護記録には事実やご利用者が発言した言葉を出来るだけ記録に残し、実践した内容が具体的にわかるようにしている。                         |      |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 毎日の申し送り後にミニカンファレンスを行い、柔軟な対応ができるようにスタッフからの意見を取り入れ、実践内容を確認している。                  |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                                              | 自己評価                                                                                                          | 外部評価 |                   |
|----|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                                 | 実践状況                                                                                                          | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                                  | 地域資源の活用はできなかった。巡回図書の利用も感染状況により延期、中止が相次いだ。可能な限り豊かな暮らしができるようにとの気持ちは常に持っている。                                     |      |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                              | かかり医への受診の際は日頃の健康状態を正確に伝えることで適切な医療を受けられるようにしている。またご家族への連絡も密に行っている。かかり医、本人、ご家族との関係が良好に築けるようにしている。               |      |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                                      | 適切な受診や看護が受けられるように、看護職者に対し正確な情報を伝えるようにしている。日頃より健康に関する知識や技術への向上については各自が研鑽するようにしている。                             |      |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。             | 入院先への情報提供を行い、ご家族も含め定期的に状況を把握するようにしている。                                                                        |      |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる              | 「終末期のありかた」についてご本人が判断できない場合はご家族に判断して頂いている。ご家族間での十分な話し合い後に同意書に記載をしてもらうようにしている。状態に変化があった際は密に連絡し、方向性を共有するようにしている。 |      |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている                                                          | 急変や事故発生時に備え、日頃よりシュミレーションし、話題にしている。最悪の場合に備え実践力が身につくよう努力している。                                                   |      |                   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。<br>また、火災等を未然に防ぐための対策をしている。 | 年2回、近隣施設との合同訓練を行っている。緊急時の連絡網は定期的に更新している。地域の方の協力体制は築くことは出来ていない。火災を未然に防ぐための対策としては日中、夜間帯での自主検査チェックを行っている。        |      |                   |

| 自己                       | 外部   | 項 目                                                                               | 自己評価                                                                                  | 外部評価 |                   |
|--------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------|
|                          |      |                                                                                   | 実践状況                                                                                  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |      |                                                                                   |                                                                                       |      |                   |
| 36                       | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                    | 言葉づかいは敬語、丁寧語にて対応し、個別的に支援することを目指している。また個室入室時はノック、声かけを行い個人のプライバシーを大切に、との思いで対応している。      |      |                   |
| 37                       |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                      | 利用者自身が判断したり決定できるような言葉かけの工夫を行い、自己決定ができることを大切にしている。                                     |      |                   |
| 38                       |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | その日の天候や体調、気分配慮しながら希望を聴いて対応している。音楽鑑賞、ぬり絵、パズルなどの個人レクも大切にしている。                           |      |                   |
| 39                       |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                   | 外出時や入浴時には季節に応じた服を着用して頂けるように一緒に選んでいる。選ぶ際は組み合わせや色合い、本人の希望を聴くようにしている。                    |      |                   |
| 40                       | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている      | 畑には季節の野菜を種や苗から育てていて、できた野菜の収穫は利用者と一緒に献立に取り入れている。食事の準備は職員が行うが、下膳後のテーブル拭きは利用者手伝ってもらっている。 |      |                   |
| 41                       |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている           | 栄養士が献立を作成し、季節の野菜を取り入れた食材で配膳している。食事、水分量は個別に記録している。必要時は捕食、補水を行い健康管理を行っている。              |      |                   |
| 42                       |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                    | 毎食後は歯磨きをしてもらっている。自分で出来ない利用者に対しては口腔ケアを準備しセッティング、片付けの支援介助を行っている。                        |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項 目                                                                                                         | 自己評価                                                                                                                   | 外部評価 |                   |
|----|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------|
|    |      |                                                                                                             | 実践状況                                                                                                                   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 出来る限りトイレでの排泄ができるようにしている。意思表示が困難な利用者に対しては時間誘導を行い失敗の体験を少なくできるようにしている。日中はリハビリパンツを使用してもらい、仮に失敗があっても速やかに処理し自尊心が傷つかないように配慮して |      |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                                              | 牛乳やヨーグルトの乳製品やココアを取り入れ、水分摂取量をチェックしている。体操や歩行運動にも参加していただいている。                                                             |      |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                        | 全介助または見守りの必要な利用者が殆どで安全を優先するために、入浴日を決め利用者に協力していただいている。入浴時にはできるだけリラックスできるようゆったりとした時間が確保できるようにしている。                       |      |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                                               | 自室ではいつでも自由に休むことができ、リビングではテーブル席、畳、ソファで気分に合わせて休める様にしている。                                                                 |      |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                                          | 薬の内容は個別にファイルし、用法、用量はいつでも目にすることが出来る様にしている。変更があった場合は申し送りや伝達ノートを活用し情報の共有ができるようにしている。薬には名前・日付を記載し、与薬責任（勤務帯）の所在を明確にしている。    |      |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 生活の中での役割や楽しみを実感してもらえるよう、洗濯物たたみやちり紙折り、ゴミ箱作り、モップかけ等を体調や気分に応じ手伝ってもらっている。新聞やテレビは自由に観れるようにしている。                             |      |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | おやつタイム時、天気の良い日は玄関先やベランダに出るようにしている。外気浴や新鮮な空気を吸うことで気分転換が図れるよう配慮している。                                                     |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項 目                                                                                                                              | 自己評価                                                                                          | 外部評価 |                   |
|----|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                                  | 実践状況                                                                                          | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                                                  | 基本現金の所持はトラブルの原因となる可能性があるため管理者が管理をさせてもらっている。近隣のパン工房での買い物も機会が得られずやりとりはできなかった。                   |      |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                                                           | 希望があればいつでも対応が出来る様になっている。必要時、ご家族の協力で電話を入れてもらい安心につなげる機会とする場合もある。                                |      |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節の花を飾ったり、壁やホワイトボードに貼り絵やぬり絵などの作品を掲示している。温湿度計をもとに室温調整に配慮している。日2回の換気を実施し臭いについては適宜アロマ水の散布を行っている。 |      |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                                      | 共用スペースのリビングには畳、ソファがあり自由に使える様にしている。テーブルは感染予防のため配置の工夫を行っている。                                    |      |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                                          | 使い慣れた物は継続して使用してもらい、写真、誕生会での色紙、各自の作品は目に触れやすい位置に置くようにしている。話題にすると喜ばれている。                         |      |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                                             | 常に整理整頓を心がけ、動線には障害となる物の排除を心がけている。手すりを設置することで安全に移動できている。必要な方のために居室・トイレ・浴室がわかるように絵や文字の工夫をしている。   |      |                   |